

目次 Contents

- 2 キプロス通信
- 4 新型コロナワクチンの追加接種が始まりました
- 5 選挙に関する重要なお知らせ
- 6 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金
- 8 まちの話題
- 10 自治医科大学附属病院連携協働コラム
- 12 保健便り
- 14 地域おこし協力隊通信
- 15 レッツスポーツ
- 16 生涯学習だより
- 18 障がい福祉瓦版
- 19 しもつけ福祉大会
- 20 新・下野市風土記
- 21 ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度
- 22 春の火災予防運動
- 23 環境トピックス
- 24 図書館だより
- 26 国民年金だより
- 27 暮らしの情報
- 38 2月のカレンダー
- 39 国際交流員ウィルペルトのコラム
- 40 イベントカレンダー

※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙

高校生のまちおこしポスターできました

今月の表紙は、市内の賑わいづくりと若者の地域定着のために、近隣の高校生有志が地域の課題に取り組む『Cross the Bridge』の活動の様子です。

今回は8名の高校生が4日間のワークショップに参加し、JR小金井駅周辺の店舗のPRポスターを制作しました。高校生たちは、各々が担当する店舗を実際に訪れて撮影や取材を行い、地元のクリエイターのサポートのもと、お店の魅力を引き出

すキャッチコピーやデザインを考案しました。

完成したポスターは協力店舗に掲示しているほか、ポスター展に展示します。高校生たちの感性で作上げたポスターを、ぜひご覧ください。

■**展示期間** 2月1日(火)~27日(日)
(月曜・第3日曜日は休館日)

■**会場** 国分寺公民館 (小金井1127)

■**時間** 午前9時~午後9時

今月の何の日

2月3日 大岡越前の日

1717(享保2)年のこの日、大岡越前こと大岡忠相が南町奉行に就任したことに由来しています。

大岡越前といえば、時代劇などでの「大岡裁き」と呼ばれる名裁きが有名ですが、実際は南町奉行に在任していた19年の間に、忠相が執り行った裁判は1度だけだったと言われています。

では、実際の大岡忠相は、一体どのような人物だったのでしょうか？

忠相は、1677(延宝5)年、旗本の四男として江戸に生まれました。20代のうちから幕府官僚としてキャリアを積み、徳川吉宗が將軍に就任した翌年、南町奉行となりました。

忠相は、徳川吉宗が行った享保の改革に、町奉行として深く関わりました。1718(享保3)年に

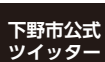
は町火消設置令を出して町火消組合を組織化し、火事の絶えない江戸の防火体制を強化しました。

1722(享保7)年には小石川養生所の設置に尽力。町医者の小川笙船が庶民救済施設の設置を訴える投書をしたところ、これが將軍の目に留まり、わずか1年後には小石川養生所の設立にこぎつきました。当初、「薬草の実験台にされる」と噂され、患者があまり寄り付きませんでした。忠相が町名主を呼び集めて施設を見学させるなどしたところ、入所希望者を収容しきれないほどになったということです。

名裁きこそフィクションですが、現実の大岡越前も、弱い者に寄り添う庶民の味方だったようですね。

■人口と世帯 (1月1日現在)

人口/60,202人 (-42)、男性/29,921人 (-11)、女性/30,281人 (-31)、世帯数/25,042世帯 (-37)



市ではホームページの新着情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右の二次元コードからアクセスできます。

下野市公式アカウント @city_shimotsuke



広報しもつけ 2022.2

Shimotsuke